

科目名	薬理学				
担当講師名		所属・役職		資格・免許	薬剤師
担当講師名		所属・役職		資格・免許	薬剤師
授業形態	講義	単位数・時間数	1単位 30 時間	開講年次	1学年前期
講義の概要	薬物を生体との相互作用という観点で捉え、その生体機能に影響を与える多面性と医療における薬物治療の基礎と看護上の留意点について学習する。				
到達目標	種々の医薬品の作用機序と分類、使い方、副作用・相互作用を知り、さらに臨床での看護上の留意点を理解する。				
講義回数	講義内容				
1～3	薬理学の基礎知識 薬が作用するしくみ、体内動態、薬物相互作用、薬効の個人差に影響する因子、薬と法律、物質としての薬物の分類				
4～5	抗感染症薬				
6	抗がん薬				
	免疫治療薬				
7	抗エネルギー薬・抗炎症薬				
	抹消での神経活動に作用する薬物				
8・9	中枢神経系に作用する薬物				
10・11	循環器系に作用する薬物				
12	呼吸器・消化器・生殖器・泌尿器系に作用する薬物				
	物質代謝に作用する薬物				
	皮膚科用薬・眼科用薬				
13～15	救急の際に使用される薬物				
	漢方薬				
	消毒薬				
	輸液製剤・輸血剤				
	※薬品濃度や量の計算、練習問題を行ないながら講義を進めていく。				
教科書等	薬理学 医学書院 適宜、資料配布				
成績評価方法	出席、授業参加状況、課題、試験等により総合的に評価する。				
履修上の留意点	既習の解剖学・生理学をふまえ授業に臨む。				
特記事項					

